

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33、54	重度化にむけて、長くベッドで過ごされる利用者が増えているが、この状況への対策が立てられていない。	重度化にむけた、安全で居心地のよい居室環境の整備。	ベッド柵の安全点検や、挟まれる事故を防ぐ工夫をし、車椅子への移乗を安心して行えるように検討する。ベッド上でも退屈しない環境をつくる。	3ヶ月
2	33	「看取り指針」はあるが、終末期に向けての個々の利用者の具体的な方針が定まっていない。	家族会や面会時に「看取り指針」をもとに具体的にどうするかを家族と話し合う。	胃ろう等の延命装置を含めた方針を、主治医の意見を求めながら、具体的に家族と話し合いをしていく。	6ヶ月
3	35	火災時の避難訓練は消防団や隣保班、消防署の参加で行っているが、水害などの災害訓練がまだ不十分である。	水害災害対策で地域との連携を深めていく。	鹿島市の地域防災計画をもとに、古枝地区での災害避難訓練の実現をはかり参加する。	10ヶ月
4	11	身体介護、食事介護等に対しては職員の意見が反映されて、介護計画が立てられているが、利用者の日々の生きがい作りや活動への職員の提案、意見が少ない。	利用者と職員が日々張りを持って生き生きとしたホームでの生活作りをめざす。	利用者の興味、趣味を洗い出し、職員の特技などと両立させた日中活動を実現していく。また、今年度グループホーム交流会に利用者が参加し、他のグループホームの方との交流を促進する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。